

## 6. 災害・防災関係

### 1) 災害・防災関連

#### (1) 南部地区公民館

(具体的な意見や質問)

自主防災会の育成や設立に市が主体となって取り組んでほしい。  
防災に対して、もっと危機感をもってほしい。  
議会としても積極的に執行部に訴えてほしい。

(議会としての考え方または回答)

議会としても、重要課題として位置づけて、執行部（行政）に伝えます。

#### (2) 北部地区公民館

(具体的な意見や質問)

防災面において、市はもっと地区に補助をしてほしい。  
市全体で備蓄物資を買ってもなかなか地区では使えない。  
地区に補助金を出して、地区にあった予算の使い方をさせてほしい。  
また、敬老祝い金などより、防災にもっと予算を使ってもらいたい。

(議会としての考え方または回答)

市では危機管理課がいろいろな対策をやっていますが、地区ごとの細かな対策までは予算面で対応できていないのが現状です。

#### (3) 朝日大平山地区公民館

(具体的な意見や質問)

日本の火山が活動期に入ったと報道されている。  
別府市においても鶴見岳・伽藍岳の噴火が心配だ。  
南海トラフ地震による津波、原発問題もある。  
市の災害対策はどのようになっているのか。

(議会としての考え方または回答)

災害の種類も多種多様です。  
また、その対応も多種多様なものになります。  
市としても真剣に取り組んでいます。  
市民啓発（防災士の育成など）から防災組織の形成まで段階をおって対策がなされるものと認識しています。  
議会としても、執行部（行政）に対して危機感をもって監視していきたいと思います。

## 【企画部 危機管理課】

火山の噴火対策については現在、学識経験者、気象庁、自衛隊、消防、国、県、市町村などで組織する火山防災協議会等において、被害想定や噴火警戒レベルの設定、住民、登山者への具体的な避難計画の検討を進めています。

南海トラフ地震に伴う津波対策については、これまで海拔表示板などの設置、緊急避難路の整備、津波避難ビルの指定、市民等に危険を知らせるサイレンとスピーカーの設置や緊急速報メールを整備してきました。

また、津波による浸水が予想される46の自主防災会ごとに津波避難行動計画を作成し、これを基に避難訓練を実施していただき、「いざ」という時の行動の備えを準備していただいています。

伊方原発対策としては、大分県、愛媛県及び原子力事業者からの情報収集に努め、市民への詳細かつ迅速な情報伝達を行ない、国、電力会社の責任において、しっかり安全性を確保するよう強く要請していきたいと考えています。

今後においても、様々な災害に対応できるよう危機管理課、消防本部と連携して避難訓練を実施していきたいと考えています。

## (4) 南部地区公民館

(具体的な意見や質問)

高層住宅に住んでいる。

津波などが発生した時に低層階（2階から3階）の高齢者や障がい者などの生活弱者を避難させなければならない。

その対策を投げかけているが、明確な回答がない。

具体的な対応を考えるべきだ。

(議会としての考え方または回答)

執行部（行政）に伝えます。

## 【企画部 危機管理課】

現在、避難の支援や安否の確認のために、高齢者や障がい者などの名簿を作成し、ご本人の同意を取ることにより消防機関、警察、民生委員などの関係機関に事前に名簿を提供する「避難行動要支援者支援制度」に取り組んでいます。

また、今後の取組みとして、避難所までの経路や避難の際、協力していただける支援者、緊急連絡先などを事前に設定する個別計画を策定し、災害時における要支援者の避難支援を進めていく予定です。

## (5) 野口ふれあい交流センター

(具体的な意見や質問)

旧野口小学校と旧北小学校が統合され、旧北小学校が別府中央小学校として開校した。

別府中央小学校は、海拔が低く津波などが発生した場合は非常に危険だ。

野口小学校跡地は海拔も高く、避難所にも最適だ。  
高台移転の補助金などを使って、移転してはどうか。

(議会としての考え方または回答)

当時、地震・津波の問題は議論されました。

しかし、東日本大震災以降において地震や津波に対する想定が大きく変わっています。

この問題は、議会としても重く受け止めています。

今後、老朽化する公共施設の見直しを執行部（行政）が行っています。

時間がかかる作業ではありますが、今後方針が出るものと期待しています。

### 【教育委員会 教育総務課】

予想される津波の状況も踏まえ、現状では、避難訓練の徹底と見直しを図り、今まで以上に児童生徒の安全確保に努めて行きたいと考えています。

## (6) 内成公民館

(具体的な意見や質問)

内成は土砂災害特別警戒区域になっているが、市が見回っている光景はあまり見ない。「危険ではないか」と感じる場所もあり県の土木事務所には伝えているが、市として何か対策はないのか。

(議会としての考え方または回答)

土砂災害が懸念される場所は地域住民の皆さんが一番よくわかっていると認識しています。

県の土木事務所に伝えるだけでなく、市の危機管理課に対しても情報を提供することで、認識が共有されて効率的な防災対策が図られるものと考えています。

### 【企画部 危機管理課】

土砂災害特別警戒区域については、全戸配布している別府市防災マップに掲載しており、毎年更新される箇所については、大分県別府土木事務所と別府市が自治会等に説明したのち、危機管理課が、該当する自治会ごとのハザードマップに反映させ、地域住民に配布、注意を促している状況であります。

また、最新の情報については、大分県のホームページ（砂防課 土砂災害危険箇所）や別府市道路河川課での閲覧で確認できます。

自主防災会の防災訓練においても、土砂災害警戒区域等などの危険箇所を周知したいと考えています。

## (7) 古賀原公民館

(具体的な意見や質問)

古賀原地区は、災害が生じた場合に孤立することが予想される。

市街地からの、救援も時間がかかることが予想される為、安心できる防災備蓄品の量（食料・飲料水など）の確保をしてほしい。

（議会としての考え方または回答）

市全体の問題として、認識しています。

ご要望として、執行部（行政）に伝えます。

### 【企画部 危機管理課】

市街地から離れた郊外の公民館については、災害時に道路の破損等で物資の運搬が困難になる可能性があることから、種類や数量は限られていますが、災害用備蓄物品を備えています。

大規模な災害発生時においては、十分な数量ではないと認識していますが、物資拠点施設から避難所に運搬調整することや大分県や大分県下市町村等の災害協定による物資提供で対応していきたいと考えています。

また、避難の際は、暫くの間、生活が続けられるための非常食や衣類などを災害時非常持出品として避難所等へ持参していただくことを連合防災協議会や町内防災訓練、防災マップを通じてお願いしています。

### （8）天間公民館

（具体的な意見や質問）

公民館が避難場所となっているが、耐震化がなされていない。

（議会としての考え方または回答）

ご要望として、執行部（行政）に伝えます。

### 【企画部 危機管理課】

天間公民館については、一時避難所として指定させていただいておりますが、耐震化されていませんので地震の際は使用できないこととなっています。

別府市において、41ヶ所の収容避難所のうち3ヶ所（南部児童館、北部地区公民館体育館、少年自然の家おじか）を除いては、耐震化施設となっています。

地震で避難される際は、そちらに避難していただくようお願いいたします。

### 【教育委員会 生涯学習課】

天間公民館は土地建物とも民間の所有となっていますので、市が耐震工事を行うことは難しいため、改築、改修については町内公民館建設等にかかる貸付金、補助金制度を利用させていただきたいと考えています。

## (9) 古賀原公民館

(具体的な意見や質問)

公民館が緊急避難場所となっている。  
市が緊急避難場所と指定する以上は、災害に十分対応した施設に改修すべきだ。  
今一度、避難場所の見直しを、統合も考慮して対応する必要がある。

(議会としての考え方または回答)

ご要望として、執行部（行政）に伝えます。

### 【企画部 危機管理課】

古賀原公民館については、一時避難所として指定させていただいており、比較的新しい建物のため、全ての災害に使用できます。

ただし、一時避難所であるため、避難期間が長期に及ぶ可能性がある場合などは、収容避難所へ避難していただくようお願いします。

なお、公民館の改修については、現時点、町内で対応していただいていますので、ご理解をお願いします。

## (10) 椿公民館

(具体的な意見や質問)

鶴見岳と伽藍岳が噴火した場合、避難場所が東山小中学校となっている。

噴火している山に向かって避難することとなる。

避難するとなると由布市の方面が安全と考える。

行政区域を越えた、災害対策を行っている自治体もあると思うので、対応を考えてほしい。

(議会としての考え方または回答)

現在、地震と津波が災害対策の中心となっていますが、日本の火山も活動期に入ったと認識しています。

今後の対応が急がれるものと考えています。

執行部（行政）に確認して、ご報告します。

### 【企画部 危機管理課】

東山小中学校は、収容避難所に指定していますが、鶴見岳が噴火した場合は、使用できない避難所です。

火山の噴火対策については、今後、関係機関で組織する火山防災協議会等において、被害想定の見直しや具体的な避難計画の検討を進めていきますが、大分県及び県下全市町村において、災害時における避難及び収容のための施設の提供や食料、飲料水などの提供などの災害時応援協定を締結しており、市町村相互間の協力、応援を実施することとなっています。

椿地区においては、噴火の際の被害想定から由布市方面に避難することが安全であるケースもあるため、状況に応じた避難場所の判断となると考えています。

## (11) 枝郷公民館

(具体的な意見や質問)

消防団の消防車に受令機はついているが、携帯用の受令機が配布できないか。  
地元で購入を検討したが、消防本部の許可が必要といわれた。

(議会としての考え方または回答)

執行部（消防本部）に伝えますが、分団からも消防本部にご意見として伝えていただけたらと思います。

### 【消防本部 庶務課】

火災の発生等は数年前からメール配信及び電話にて情報をお伝えしています。

これまでのアナログ無線は、市販の一般的な受信機でも傍受できたため、情報の漏れを100%防ぐことが不可能でした。デジタル化の目的には「秘話性の向上によるプライバシーの保護」があげられており、電波法、地方公務員法、消防団条例等による個人情報保護を遵守しなければならないなどの観点から今後も消防施設以外に受令機を設置することは困難であると考えています。

今後、国の消防救急無線の運用体制の変化、他都市の無線運用状況等の情報収集を継続して行い、対応していきたいと考えています。

## (12) 城島公民館

(具体的な意見や質問)

城島地区から病院まで救急車で30分以上かかる。  
中山間地の公民館にAEDを置いてほしい。

(議会としての考え方または回答)

ご要望として、執行部（行政）に伝えます。

### 【教育委員会 生涯学習課】

町内公民館の管理運営は自治会が行うこととされていますので、市が設置することは困難です。AEDの購入にあたっては、町内公民館建設等にかかる貸付制度を利用させていただきたいと思います。貸付の場合、4月からAEDなどは全額貸付対象とする予定です。

## (13) 天間公民館

(具体的な意見や質問)

この地域は、市街地から20km離れている。

救急車も早くて25分程度かかる。(去年雪の日に隣人が救急車を呼んだが1時間掛かった。)

災害時には、公民館が避難場所になっているが、集落の住民自らで対応しなければならないと考えている。

医療応急セットやAED等の災害応急セットを配置してほしい。

(議会としての考え方または回答)

他の自治会からも要望が出ています。

執行部(行政)に、要望としてお伝えします。

### 【企画部 危機管理課】

生命の危険が切迫している場合等については、救急車のほか、天候や時間帯等にもよりますが、医療機器及び医薬品を装備し、救急医療の専門医師が搭乗する大分県のドクターヘリコプターまたは防災ヘリコプターを活用した救急活動が行われます。

なお、医療応急セットの配置については、現時点、各公民館で準備していただいていますので、ご理解ください。

### 【教育委員会 生涯学習課】

町内公民館の管理運営は自治会が行うこととされていますので、市が設置することは困難です。AEDの購入にあたっては、町内公民館建設等にかかる貸付制度を利用させていただきたいと思います。貸付の場合、4月からAEDなどは全額貸付対象とする予定です。

## (14) 天間公民館

(具体的な意見や質問)

大雨の時、林道から土砂が国道に向けて来る。

昔に比べて、雨量も多い。(集中豪雨的)

片付けが、集落の手に負えるものではない。

何とか行政の力を借りたい。

(議会としての考え方または回答)

ご要望として、執行部(行政)に伝えます。

### 【建設部 道路河川課】

自治会から詳細な要望内容を聞き、地元の意見等参考に今後の対応を協議したいと考えています。

## (15) 内成公民館

(具体的な意見や質問)

積雪が原因で竹が倒れた時期があり、地元住民だけでは改修が間に合わず苦慮している。

(議会としての考え方または回答)

ご意見として、執行部（行政）に伝えます。

### 【建設部 道路河川課】

道路の維持管理について、日頃より地元の方にご協力いただきありがとうございます。

道路脇の木や竹などは、土地の所有者に適切に管理してもらうことをお願いしていますが、積雪や災害時などの非常時は連絡いただきたいと思います。

### (16) 内成公民館

(具体的な意見や質問)

県道が広がったことで、車の量が増えた。

夜遅くになるとたむろしている人も見かける。心配だ。

防犯カメラを設置して、犯罪などの予防に努めてほしい。

(議会としての考え方または回答)

防犯カメラの必要性は感じています。

ご意見として、執行部（行政）に伝えます。

### 【企画部 危機管理課】

犯罪を防止するための防犯カメラの設置については、現在、犯罪が発生した場所など限定した場所に設置しております。

大分県警察本部では、地域住民の皆さんが不安を感じる犯罪等の未然防止を図るため、地域防犯の目的で街頭防犯カメラを設置する自治会等に対し、防犯カメラ設置費用の一部を補助する「大分県街頭防犯カメラ設置促進事業」を行っています。

これは、地域住民の身近で起きる犯罪が過去に複数回発生している地域の自治会などの団体に対し、防犯カメラ設置費用の一部を補助する事業であり、補助率は補助対象経費の2分の1（上限1団体50万円）でありますので、ご紹介させていただきます。

なお、ご意見いただいた状況については、別府警察署生活安全課及び大分県土木事務所管理課へ伝えました。

### (18) 内成公民館

(具体的な意見や質問)

自然エネルギーは災害に強いはずなので、災害時はいち早く復旧できるような開発の基準を定めてほしい。

(議会としての考え方または回答)

基準については、条例化して制限をかけられるようにするのが望ましいと認識しています。

国のエネルギー政策や九州電力方針によって、どの程度の開発が進められるのかが、大



きく影響するため、今後の動向を見守る必要があると考えます。

**【生活環境部 環境課】**

災害復旧のための設置基準については、科学的知見やバックデータの集積等により国レベルで規制やガイドライン等を作成すべきものと考えています。